

くなる魅力がある。加西市としてどう受け止め取り組まれるか。

答

外から来る人が魅力的だと感じて、特に子育ての若いお母さんたちが、加西に住むのが格好いい、住んでみたいと思えるまちづくりをしていきたいと思っています。単に水道料金が安い等のいろんなメリットを強調する自治体もありますが、働くところがまずあること、そして遊ぶ場所や子育てがしやすい場所、スポーツや文化を楽しめる、おいしいものが食べられ、教育水準が高い、安くて快適な住宅があるというさまざまな点に加西市にもありません。そのためにも、よそから来た人に寛容で、ホスピタリティを持った市民が、ふるさとのすばらしさを自覚し、発掘していきける市民が増えるように頑張っていきたいと思っています。



加西市の公立と私立の保育園、幼稚園について



小谷安富 議員
(太陽の会)

問

平成20年度決算で、公立、私立それぞれの加西市の単独負担金の総額と、児童一人当たりで割った場合、幾らになるのか。また、小野市と同じような時期から加西市も民営化できているならば、市単独の負担金の歳出が幾らくらいで済んだか。

答

平成20年度では、公立保育所市単独負担額3億9,700万円(児童一人当たり78万3,000円)、私立保育所市単独負担額9,700万円(児童一人当たり17万5,000円)です。小野市は現在、保育所14施設、幼稚園2施設所在し、保育所はすべて私立、幼稚園は公立です。小野市は古くから保育所は私立施設が多く、昭和63年度から全園が民間施設になりました。小野市並に民営化されていたらということですが、国県負担金が交付税算入されたことにより、平成21年度で8,000万円程度の減益が発生する

と見込まれます。それに係る16年から22年度の7年間ということになります。

学校再編と小中一環教育について



別府直 議員
(新政会)

問

統廃合が行われれば、小中一貫教育には太陽熱等を利用した屋根付きプールの配備や、ランチルーム形式の給食方法等の新しい教育環境整備が必要と考える。統廃合してこそできる環境整備された新しい学校のイメージを、市民にも伝えていくべきではないか。新しい構想でこれからつくり上げていく学校には、すばらしい環境が整い、多くの子どもたちの笑顔に満ちあふれる学校像を描いてもらいたい。

答

新しい学校の統廃合を進め、小中一貫校等の新しい学校施設をつくる場合は、ハード、ソフト両面で学校施設の内容を充実させたいと思っています。太陽光発電や太陽熱温水器、床暖房やその他の環境対策

を十分に講じて、快適でいままでの加西の学校のイメージが一新できるような施設を目指したいと思います。ランチルームも多目的ホールとしてつくっておけば、ランチルームや立食パーティールームにも使えるし、学校のイベントにも活用できます。子育て世代が、ほかからわざわざ加西に移り住んで、質の高い加西の教育を受けたいと思ってもらえる教育環境づくりに教育委員会と連携して当たりたいと思います。

任期付職員の現況とその効果と市民生活への影響について



吉田稔 議員
(清風会)

問

現在の任期付職員は何名で、どんな仕事しているのか。高額な給与を支払い、短期間で効果を出すのが任期付職員と理解する。採用時に短期間で効果が出るかを検討するのが任命権者の責任で、効果が出かわからないことで多額の公費を使っていくことはいかかものかと思うが、本当に効果が出

て、市民生活が豊かになったのか。

答

自治参画課長は、男女共同参画、外国人との多文化共生等の啓発事業、経営戦略室次長は、市役所業務の包括委託の検討、水道事業の民間活用、公有資産のアセットマネジメント*等、経営戦略室参事は、先端的事業への取り組みと情報収集、ネットワークの構築等、環境創造課主幹は、環境に優しい都市づくり、CO₂削減への取り組みの促進、地球温暖化の地域推進計画の作成、公共施設の省エネ対策の実施計画の策定等、教育委員会参事は、小中一貫教育の推進、コミュニティスクールの推進、加西市独自の英語教育の推進等を行っています。採用段階で市役所で育っていない人材を求めており、既存の職員よりも専門性、行動力、実績がある人を探っています。さらに、同年齢の職員よりも5%から7%安い水準で採用しています。任期付職員が相当実績を上げてくれて、成果が必ず出ると信じており、市民参画のプログラムや、公民連携の準備活動、企画活動は早ければ来年、水道事業等で

*アセットマネジメントとは…公有資産の活用